

国東市男女共同参画審議会 概要

- I 日 時 令和4年3月22日(水)午後3時00分～午後4時30分
- II 場 所 アストくにさき アグリホール
- III 出席委員 審議会10名(12名中)
- IV 出席者 吉水副市长・河野教育長・国東市役所各課所属長19名
事務局3名(政策企画課)
- V 会 次 第
 - 1. 開 会
 - 2. 審 議 1)第3次国東市男女共同参画計画(素案)について
 - 3. 閉 会

会議の概要

事務局が第3次国東市男女共同参画計画(素案)の概要を説明し、その後質疑応答及び意見交換を行いました。

<第3次国東市男女共同参画計画(素案)について>

○市民意識調査と事業所意識調査について、概要を知りたい。

———市民を対象とした意識調査については、国東市在住の20歳以上の市民の中から、居住地域・性別・年代に偏りがないように800名の方を抽出し、郵送による配布・回収アンケートを実施した。配布数800通に対し、291名の回答を頂き、回答率36.4%となった。事業所を対象とした意識調査については、市内全域の事業所のうち、従業員が20名以上の企業104社に対して調査を行い、配布数104通に対し、52社の回答を頂き、回答率50.0%となった。

○回答率36.4%の市民意識調査をもとに、素案の作成を行うことについて協議があったか？
また、事業所意識調査については、事業所内部のことを率直に答えてもらえるような配慮を行ったか？

———近隣の同じ調査をしている市町村や、規模が似ている市について、調査の回答率を調べ、20%後半から30%との回答率であったことから、今回の実施した市民意識調査(36.4%)についても男女共同参画の基礎資料となるデータが収集できたと考えている。事業所調査については、ハラスメント事案に関する回答しづらいような設問も設けたが、回答に協力的な事業所が数多くあった。

○SDGs と施策の方向の関連について。

—————SDGs は大きく17のゴールが設定されており、男女共同参画社会の実現に向けた第3次計画は、SDGs の目標(ゴール)のうち、「ジェンダー平等を実現しよう(ゴール5)」に関連している。また、男女共同参画を実現するために施策で取り組んできたことと、SDGs は結びつく部分があるため、今回の計画で見える形で結び付けを行っている。

○SDGs の理念を国東市の男女共同参画に関連させることには賛成である。しかし、グローバル社会の枠組みを国東市の計画に関連させるとなったときに、子ども達に分かりやすく伝えることが難しいと感じる。また、国東市には神事などについて、男女平等ではない部分がある。その部分を大切に文化を受け継いでいる。地域の特性と、男女共同参画が交わらない部分もあるが、そのような部分にも配慮した素案にしてほしい。

○素案中の「男女が」という文言を「誰もが」という表現に修正した意図について。

—————今回の計画改定に伴って、性のあり方は多様であるという観点から、「様々な困難を抱える方」の施策として「性的少数者への支援」を新規追加した。この経過から、性別に関係なく多様性に富んだ、市民一人ひとりが活躍できる環境整備をという考えから、計画の文章中において性別を限定するような文言については修正を加えている。

○障がい者支援について。児童に対する支援については、放課デイサービスや児童発達支援事業など充実しつつある。しかし、B型事業所などで働く障がい者については、15 時までの勤務時間など就労終了時間が早くなっている関係で、家族が時短勤務を選択しないと障がい者が1人で自宅にいることになってしまうような事案も発生している。障がい者の就労時間後から家族が自宅に帰ってくるまでの時間帯について、対応できるような施設があればいいと感じる。

—————社会保障制度として国が整えるのか、市の財源の中で整えていくのか、他の支援の仕方があるかなど検討を重ねたいと思う。

○事業所意識調査の「管理職が少ない(3割未満)、あるいは全くいない理由」という設問について、「必要な知識や経験、判断力を有する女性がいない」との回答が高いが、この「必要な知識や経験」は男性社会を基準として考えているのではないかと感じる。女性に学習の機会を提供する施策も大切だと思うが、男性に対して、経験がなくても新しい視点や感性で女性は活躍できるといったといったような考え方の普及も行うべきだと思う。事業所調査の設問について、男性社会を主観とした設問になっていないか慎重に協議するべきだと思う。

- 危機管理部署の女性職員配置について。災害時に緊急対応が必要な業務が多いため、女性の職員配置が難しい面もあると感じている。市民意識調査で「災害時に必要なもの」という設問を設けており、回答結果から性別に関係なく、市民が避難時に求めている事が同じであるとの結果が出ているので、この市民意識調査の結果を大切にしてほしい。

- 起業・創業者のサポートについて、意見・相談の場を市役所の会議室ではなく、カフェで開催して成功したという例がある。女性が入りやすい・意見を述べやすいような場所での開催も視野にいれてみてはどうか。
 - 起業・創業する女性の方が参加しやすいような開催の仕方を考案していきたい。令和4年度実施の鶴川地区チャレンジショップの参考にもしていきたい。

- 市民意識調査を行うことも大切であるが、「生の声」を聞くことも大切だと考える。アンケートでは記載しにくい・表現しにくい事があると感じるため、カフェ等で対象の人を集めて、意見を聞くということを定期的・持続的に実施したほうが良いと思う。

国東市男女共同参画審議会委員

(任期：令和3年5月8日～
令和5年5月7日)

氏名	区分	備考
伊美哲二	人権関係	会長
西田文代	商工会関係	副会長
糸永和人	企業関係	
佐藤健	学校関係	
平山亜美	農林水産関係	
徳丸由美子	女性団体関係	
峯榮揮	主任児童委員	
馬道淳菜	地域	
宮園美加	一般	
重吉喜一郎	一般	
中島健博	一般	
長尾恵利華	一般	